

投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 竹谷 徹 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 4.3 億円 <small>(内用地補償費 約 2.5 億円)</small>
		特定交通安全施設等 整備事業 (主)三田後川上線	三田市三輪		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
三田市三輪				平成 16 年度	平成 18 年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 ・交通量の多い当該道路に自転車歩行者道を整備し、歩車の分離を図ることにより交通安全対策を推進する。			自転車歩行者道整備 L = 3 3 0 m W = 3 . 0 m (3 . 5) m < 現況 > 歩道なし		
評価視点					
(1)必要性 快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車 11,353 台/日、歩行者 39 人/日、自転車 118 台/日) ・過去 5 年間の自転車・歩行者の交通事故件数 (5 件) ・死傷事故率 (113 人 / 億台 km) ・周辺には友ヶ丘団地、国立療養所兵庫中央病院 (約 30m)、県立上野ヶ原養護学校 (約 300m)、県立高等養護学校 (約 300m)、城山公園 (のじぎく兵庫国体の会場) があり、三輪小学校、八景中学校の通学路、有馬高校等への自転車通学の路線にもなっていることから、多様な通行状況にある。 ・住民参加による交通安全総点検を実施し、歩道設置の必要性が指摘された。 ・連続性の確保 (前後の整備状況・・・起終点とも整備済み) ・幅広歩道の整備 (3.5m) 				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・円滑な用地取得に向けて、地元の協力体制等事業執行環境が整っている。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・透水性舗装の採用により、雨水の地中への還元が図れる。 				
(4)優先性	当該箇所は、国立療養所兵庫中央病院、県立養護学校等が隣接しており、三輪小学校や八景中学校の通学路に指定され、有馬高校等への自転車通学の路線にもなっていることから多様な通行状況にある。自動車交通量が多いことから、事故の発生が懸念されるため、早急に自転車歩行者道の整備を行う必要がある。				

